

特定非営利活動法人 あしやNPOセンター

【第17期（令和5年度）活動報告書】



目 次

ページ

第17期（令和5年度）活動報告	1
第17期（令和5年度）活動計算	21
財産目録	23
貸借対照表	24
財務諸表の注記	25
計算書類の注記	26
監査報告書	27

I 委託事業

1. あしや市民活動センター（以下、活動センター）の指定管理業務

(1) 会館の管理運營業務（定款①）

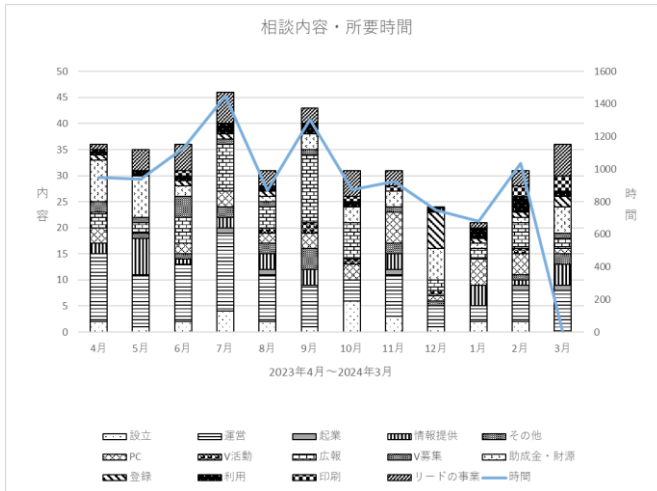
- ・利用者数は 26,465 人（前年度 20,901 人）
- ・会議室 A・B・C・D を貸し出し 平均稼働率 59%（前年度 61%）

	稼働日数	稼働回数	会議室A			会議室B			会議室C			会議室D			合計			参考用					
			回数	率	稼働	回数	率	稼働	回数	率	稼働	回数	率	稼働	回数	率	稼働	オープン1		オープン2		多目的室	
4月	24	72	52	72%	53	74%	46	64%	49	68%	200	69%	10	14%	2	3%	22	31%					
5月	24	72	59	82%	49	68%	40	56%	39	54%	187	65%	10	14%	11	15%	34	47%					
6月	26	78	57	73%	56	72%	45	58%	43	55%	201	64%	26	33%	1	1%	44	56%					
7月	25	75	61	81%	51	68%	44	59%	47	63%	203	68%	15	20%	6	8%	19	25%					
8月	26	78	40	51%	36	46%	27	35%	28	36%	131	42%	12	15%	6	8%	18	23%					
9月	24	72	51	71%	48	67%	29	40%	38	53%	166	58%	21	29%	4	6%	29	40%					
10月	25	75	53	71%	48	64%	34	45%	30	40%	165	55%	26	35%	1	1%	31	41%					
11月	24	72	50	69%	42	58%	36	50%	37	51%	165	57%	23	32%	2	3%	23	32%					
12月	23	69	52	75%	41	59%	36	52%	37	54%	166	60%	20	29%	7	10%	20	29%					
1月	23	69	50	72%	42	61%	33	48%	25	36%	150	54%	19	28%	4	6%	13	19%					
2月	25	75	50	67%	46	61%	39	52%	34	45%	169	56%	23	31%	5	7%	30	40%					
3月	26	78	53	68%	47	60%	37	47%	46	59%	183	59%	26	33%	1	1%	39	50%					
合計	295	885	628	71%	559	63%	446	50%	453	51%	2,086	59%	231	26%	50	6%	322	36%					

- ・大判プリンター、コピー機等の貸し出し、印刷に関する助言及び支援
- ・NPO 関連の図書、プロジェクター等を無償で貸し出した。
- ・11月24日 消防避難訓練（報告6頁）
- ・2月22日 普通救命講習会

(2) 相談業務（定款②）

- ・相談件数は 401 件、前年度 (421 件) から 4.8% 減少している。
- ・全般的に運営相談が多く相談件数の 25% を占めた。昨年度増となった広報関連の相談件数は 54 件で前年比 25% 減となったが、ここ 5 年間の平均件数 40 件を上回っており、運営・広報関連の相談が上位を占める傾向は続くと思われる。
- ・今年度の特徴として、助成金・資金源に関する相談が前年比で倍以上の 41 件となった。また、センターの利用、リードあしやの事業に関する相談についても伸長しており、LeedCafe などによるオープンスペースの利活用に繋がっている。



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
設立	2	1	2	4	2	1	6	3	1	2	2	0	26
運営	13	10	11	15	9	8	4	8	4	3	6	8	99
起業	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	1	1	5
情報提供	2	7	1	2	3	3	0	3	0	4	1	4	30
その他	0	1	1	2	2	4	0	2	1	0	1	2	16
PC	3	0	2	3	2	3	3	6	1	5	4	1	33
V活動	0	0	0	0	1	2	1	0	1	0	1	0	6
V募集	2	1	4	1	1	1	0	1	0	0	0	1	12
助成金・財源	8	8	2	0	1	3	3	3	6	1	1	5	41
広報	3	2	5	9	4	13	7	0	2	2	5	2	54
登録	1	0	1	1	1	0	0	0	7	1	1	2	15
利用	1	1	1	2	1	2	1	0	1	2	3	1	16
印刷	0	0	1	0	0	0	1	1	0	0	2	3	8
リードの事業	1	4	5	6	3	3	5	3	0	1	3	6	40
合計	36	35	36	46	31	43	31	31	24	21	31	36	401

相談分野	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
福祉（高齢・	11	9	10	16	8	13	8	8	1	2	2	8	96
子ども	12	7	8	7	1	6	5	3	2	4	2	3	60
多文化・国際	0	2	4	0	1	1	4	0	0	2	0	0	14
文化	1	3	0	2	8	3	0	3	6	1	5	4	36
健康	4	2	1	4	3	2	1	1	2	0	1	4	25
中間支援	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	2	2	7
街づくり	4	10	4	7	3	6	6	7	7	7	10	10	81
その他	4	1	9	9	7	12	7	8	6	5	9	4	81

団体分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
NPO	25	30	18	23	20	28	17	16	13	11	13	20	234
AC	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	3
自治会	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
行政	1	1	5	2	2	2	1	2	1	2	2	4	25
企業	0	1	3	1	1	0	0	2	0	2	1	1	12
個人	9	1	9	14	7	11	11	8	7	4	13	6	100
その他	1	1	1	6	1	2	1	2	2	2	1	5	25

年代	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
10代以下	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
20～30代	6	4	6	6	4	1	5	4	2	5	1	6	50
40～50代	21	18	22	18	17	26	18	15	9	7	16	20	207
60代以上	9	12	8	18	10	16	7	11	11	8	14	10	134
不明	0	0	0	4	0	0	1	0	0	1	0	0	6

相談方法	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	22	18	28	27	14	29	17	22	15	14	24	23	253
電話	9	9	7	17	11	11	7	8	3	3	4	10	99
メール	4	5	1	2	4	3	6	1	6	3	3	2	40
訪問	0	3	0	0	2	0	0	0	0	1	0	1	7
その他	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2

(3) 市民参画及び協働に関する情報収集と提供業務（定款②）

- ・ ホームページで芦屋市の情報や、登録団体のイベント告知等の情報を発信
- ・ 活動センター内で、ラック・パネルなどを活用して団体情報を掲示
- ・ ボランティア募集ボードや、団体のイベント、会員募集を掲示
- ・ 季刊紙「リードあしや」61号6月15日、62号9月15日、63号12月15日、64号3月15日発行
- ・ ためまっぷ芦屋を含むSNS等で情報提供

(4) 市民活動団体相互の交流とネットワーク支援（定款⑤⑦）

- ・ 4月から毎月1回「市民のつどい場」開催
- ・ 5月～1月 あしや子ども笑顔ネット「灯籠まつり実行委員会」運営支援
- ・ 芦人認定者3団体の動画編集及びYouTubeチャンネル配信
- ・ ふれあいカフェ13団体17回開催
- ・ 6月～9月 日常を「ユニバーサルマナー」でつなぐ3回開催（報告6頁）
- ・ 8月6日 夏休み！わくわくスペシャル開催（報告7頁）
- ・ 9月2日 あしや市民活動フェスタ開催（報告8頁）

- ・ 11月25日 あしや市民活動センター登録団体交流会（報告8頁）
- ・ 12月24日 ソーシャルグッドな市民のつどい場開催（報告9頁）
- ・ 偶数月第3金曜日6回開催ママと子の居場所づくり「つきいちよるごはん」（報告9頁）

(5) 市民活動に関する講座等（定款④）

- ・ 4月9日 ストーリーマップセミナー（報告10頁）
- ・ 5月13日 団体運営お助け1dayスクール（報告10頁）
- ・ 奇数月第3金曜日6回開催ソーシャルナイト夜の社会貢献勉強会（報告11頁）
- ・ 5月28日 6月11日コミュニティビジネスゼミナール（報告12頁）
- ・ 5月～12月 芦屋発、君も今日から新聞記者講座及び実践及び編集（報告13頁）
- ・ 7月30日 Instagramを使いこなそう！（報告13頁）
- ・ 10月29日 合意形成が生まれる場（報告14頁）

(6) ボランティアコーディネーション（定款⑦）

- ・ 4月から毎月第2金曜日 リードあしやの庭づくり
- ・ 4月2日 第35回芦屋さくらまつり清掃ボランティア（報告14頁）
- ・ 5月2日 兵庫県立国際高校ボランティア部との交流
- ・ 6月10日、2月17日、3月23日 スマイルボランティアがふれあいカフェ運営缶バッチ作成を実施

(7) 参画と協働（定款⑤）

- ・ 芦屋市市民提案型助成金事業（市民参画・協働推進課）
- ・ こども家庭・保健センター愛称（こども家庭・保健センター）
- ・ 手話啓発パンフレット動画制作（障がい福祉課）
- ・ 市内3中学生のトライやる・ウィーク受け入れ（教育委員会）
- ・ 芦屋市福祉フェア（こども家庭・保健センター）

(8) 研修

- ・ 内部研修 1回 6人

6月28日 「個人情報保護法」

- ・ 外部研修 10回 6人

災害時対応セミナー 社会を明るくする運動 コミュニティデザインの概念 学生クリエイターに学ぶ Instagram の投稿ポイント インスタ活用でファンづくりセミナー 社会的処方 EXP02024 多様な主体間における連携促進のための研修会等

2. 自主事業

- ・ 灯籠まつり「灯籠でまちを彩る」5月から月1回 灯籠まつり実行委員会開催 8月灯籠制作試作会開催 12月17日市民向け灯籠づくり講座 1月8日まつり開催（報告15頁）
- ・ 9月16日23日30日 「災害時対応セミナー」開催（報告15頁）
- ・ 2月2日3月15日「CYCLE COMPOST 講習会」開催（報告16頁）
- ・ あしや部「あしなび」発行に向けての取材及びボランティア活動の支援
- ・ Just! do it「花と緑があふれる街Ashiyaプロジェクト」2回開催（報告17頁）
- ・ Just! do it「コミュニティほけん室」1回開催（報告17頁）
- ・ Leed Cafe 1日シェフ7団体26回実施、参加者延べ669人
- ・ ロッカーを設置し、11団体と契約
- ・ 印刷機、ラミネート等の貸し出し、印刷に関する助言及び支援
- ・ ギャラリー17団体33回作品の展示、販売の場を提供
- ・ 11月18日 ギャラリーマルシェ（報告18頁）
- ・ 利用者のくつろぎの場として自動販売機及びコーヒーマシン設置

令和5年度 施設・備品利用料収入

月	貸室	複合機	大判	紙折	丁合	輪転印刷機	ロッカー	Leed Café	缶バッチ	ラミネート	カフェ	デザイン	PC相談	ギャラリー	収益総合計
	指定管理事業					自主事業									
4	¥140,800	¥157,680	¥9,311	¥900	¥600	¥81,681	¥26,400	¥5,000	¥0	¥1,860	¥1,400	¥2,500	¥0	¥3,000	¥431,132
5	¥164,940	¥215,140	¥15,920	¥600	¥300	¥90,238	¥16,000	¥9,000	¥0	¥3,880	¥1,200	¥3,000	¥0	¥0	¥520,218
6	¥172,690	¥254,205	¥26,700	¥600	¥600	¥44,394	¥1,600	¥0	¥0	¥3,240	¥0	¥18,500	¥3,500	¥0	¥526,029
7	¥140,150	¥154,700	¥0	¥900	¥1,200	¥45,691	¥2,400	¥3,500	¥0	¥3,730	¥1,500	¥8,512	¥1,500	¥5,400	¥369,183
8	¥160,070	¥146,335	¥0	¥600	¥300	¥25,433	¥800	¥14,000	¥0	¥730	¥0	¥500	¥0	¥100	¥348,868
9	¥121,260	¥128,820	¥2,500	¥1,200	¥300	¥50,940	¥7,200	¥7,000	¥0	¥8,680	¥0	¥2,500	¥0	¥0	¥330,400
10	¥151,080	¥160,090	¥41,055	¥600	¥300	¥39,447	¥15,200	¥17,000	¥0	¥3,880	¥1,300	¥7,000	¥0	¥500	¥437,452
11	¥144,380	¥126,170	¥33,000	¥300	¥300	¥24,834	¥0	¥7,000	¥0	¥3,380	¥1,700	¥0	¥0	¥1,000	¥342,064
12	¥162,280	¥169,805	¥9,500	¥300	¥300	¥31,980	¥800	¥15,000	¥0	¥1,840	¥0	¥0	¥0	¥0	¥391,805
1	¥190,270	¥148,440	¥0	¥2,300	¥300	¥23,390	¥800	¥3,500	¥0	¥640	¥5,800	¥5,500	¥250	¥0	¥381,190
2	¥173,100	¥145,380	¥8,000	¥2,500	¥100	¥40,398	¥11,200	¥13,500	¥0	¥1,750	¥0	¥0	¥1,500	¥1,200	¥398,628
3	¥166,380	¥143,240	¥35,000	¥4,100	¥400	¥50,973	¥24,000	¥0	¥940	¥4,940	¥4,600	¥10,000	¥0	¥1,100	¥445,673
合計	¥1,887,400	¥1,950,005	¥180,986	¥14,900	¥5,000	¥549,399	¥106,400	¥94,500	¥940	¥38,550	¥17,500	¥58,012	¥6,750	¥12,300	¥4,922,642

II 独自事業

1. 人材育成及び講師派遣事業（定款④）

- ・ 6月28日 芦屋川カレッジ ・ 8月5日 打出教育文化センター
- ・ 10月26日 社会福祉協議会「イケてるチラシの作り方講座」
- ・ 1月27日 男女共同参画センター「Canvaセミナー」
- ・ 1月28日 2月25日 3月24日 自治会連合会交流会企画運営

2. ためまっぷ芦屋運営事業

- ・5月27日 8月27日 講座開催（報告19頁）
- ・7月8日 日本NPOセンター及び株式会社TIS視察を受ける

3. 情報提供事業（定款②）

- ・NPOセンター通信14号発行
- ・月1回ニュースレター（メールマガジン）を約1,040件に配信
- ・法人のFacebook、Instagramを利用し、事業内容を都度配信
- ・ためまっぷ芦屋を運営し、団体、行政等の情報提供に努めた

4. 各団体の委員を担う。

- ・芦屋市立みどり地域生活支援センター運営会議
- ・社会を明るくする運動推進委員会
- ・多機関協働推進委員会（地域福祉課）
- ・居場所づくりプロジェクト会議（地域福祉課）
- ・社会福祉審議会及び社会福祉審議会部会（地域福祉課）
- ・障がい児者作品展会議
- ・芦屋市女性活躍推進会議（市民生活部市民室人権・男女共生課男女共生係）
- ・芦屋市市民参画協働推進会議（企画部市長公室市民参画・協働推進課協働推進係）

5. 他団体への後援・協力（定款⑤）

- ・メールマガジン等で市民団体の広報支援
- ・灘中学校トライやる・ウィークの受け入れ
- ・芦屋市自治会連合会交流会運営
- ・芦屋市消費者協会後援
- ・NPO法人あっとオーティズム協力

6. 組織運営 理事会等

- ・令和5年4月20日 令和4年度監査
- ・令和5年4月20日 第1回理事会 17期通常総会内容協議
- ・令和5年10月26日 第2回理事会 令和6年度事業計画のコンセプト協議
- ・令和6年1月18日 第3回理事会 令和6年度事業計画案審議
- ・令和5年5月20日 第17期通常総会
- ・事務局会議 毎月1回の開催と、申し送りを兼ねた朝礼を毎日実施
- ・指定管理者会議 毎月1回、市民参画・協働推進室と指定管理業務内容の確認

芦屋市公光分庁舎消防避難訓練

- 1 日 時：11/24（金）10:00-10:30 2 担当：二宮 3 参加者：15人
- 4 目 的：消防法に基づいた避難訓練の年1回の実施を行い、火災発生時の対応が円滑にできるようにする。
- 5 内 容：公光分庁舎北館1階キッチン付近での出火を想定した消防訓練（通報訓練・避難訓練・消火訓練）
- 6 振返り：

・職員が4人時の場合を想定したオペレーションで実施した。誘導対応の人員不足を補完するために利用者（訓練では職員が扮した）の協力を得て実施、円滑な避難ができた。避難者の中に階段歩行困難者がいたが、消防隊員と連携を取り慎重に避難を行った。



- ・消防隊員の指導の下で、施設利用者及び職員が消火訓練を行った。
- ・問題点として火災報知器の非常ベルの解除停止ができないことがあった。
- ・訓練当日の利用予約者には事前の通知が必要。
- ・より現実的なシチュエーションを想定した訓練を行う。

日常を「ユニバーサルマナー」でつなぐ報告

- 1 実施日：6/18(日)、7/9(日)、9/10(日)13:00-15:00 2 担 当：株本
- 3 参加者：82人（述べ人数、（見学含む））
- 4 協 力：・杉田俱子さん（芦屋市身体障害者福祉協会）
・芦屋市障がい福祉課 長谷さん
・（特活）芦屋市手をつなぐ育成会（おむすび隊）
・コープこうべ 藤井さん、ユニカワ 楠本さん
- 5 目 的：高齢者や障がいのある方、ベビーカー利用者、外国人など、多様な方々に向き合うためのマインドとアクションを学び、“相手の視点に立ち、行動する”ことを地域で共有する。
- 6 内 容：・様々な障害についての座学
・芦屋市の取り組みについて
・知的障がい・発達障がいの疑似体験ワークショップ
・ユニバーサルショッピング等事例紹介（動画、コミュニケーションボード）
・街に必要なマインドとアクションについて意見交換
・サポート意思表示マークの作成及び缶バッチ作成
・缶バッチのPR、配布方法についての意見交換

- 7 振返り：第 1 回は芦屋市での身体障がい者の実情や行政や、企業での取り組みなどの紹介、疑似体験ワークショップをし、グループワークでは当事者の体験や困りごとなどの意見交換を行った。第 2 回は、「助ける意思」があることを表すマークを考える機会を設け具体的に意見交換し、この活動の総称として「あしや♡おたすけ部」が決定した。第 3 回は、マークを決定し缶バッジを作成した。缶バッジの作成支援や配布など、今後も多様な方々とのつながりをもつ機会を続けていきたいと思う。缶バッジ 360 個配布。



夏休み！わくわくスペシャル報告


- 1 日 時：8/6(日)9：30～16：00 2 担 当：出口
- 3 参加者：午前中（プログラム）参加団体 7 団体 14 人、参加者 49 人
 午後の部 参加団体 9 団体 31 人 参加者大人 17 人、子ども 25 人
 スタッフ 4 人 合計 140 人
- 4 団 体：Living with JOY、ポイエシス、こころのアトリエ・ハーティスト、Chie&Yoshi、オーロラサイエンス、フルーレット芦屋、スタジオパバローン、こじやる、遊遊、工藤さん、芦屋大学ボランティア部 Aqua、あしやエコクラブ、芦屋 Tio クラブ、NPO 法人「絵本で子育て」センター、コケッココ、人形劇団「夢」
- 5 振返り：プログラムや会場の転換など、時間に余裕がなくあわただしくなってしまう。午前中は、参加申し込みが満席になるプログラムとそうでないプログラムがあり、集客に工夫が必要と感じた。午後のワークショップはスタンプラリーで、まんべんなく参加していたようだ。





第16回あしや市民活動フェスタ 未来をつくるたぶん100人会議

あなたのやりたいことコミュニティ・ビジネスプレゼンテーション大会事業報告

- 1 日時：9/2(土)13:30-16:30 2 担当：二宮 文責：出口
- 3 参加者：55人…来賓：3人、講師：1人、視聴者：28人、途中参加：12人、
プレゼンター：9人、メディア：1人、ボランティア：1人、
- 4 講師：梅山晃佑さん（プロジェクトコンサルタント）
- 5 目的：芦屋市における地域課題の解決や地域資源の活用などのコミュニティビジネスプランをプレゼンテーションし、より多くの地域の方々に知る、理解する、共感する、応援・支援に繋げ、「できる」に繋げる。
- 6 内容：以下の流れで実施した。
 - ・コミュニティビジネスプチセミナー（講師：梅山さん）
 - ・コミュニティビジネスプレゼンテーション大会 @7分×8組
- 7 振返り：事前申し込み無しで、当日参加した方がかなりいた。プレゼンターによっては、支援者を集め投票してもらうことで共感ポイントと集める行為が見られた。

会場参加のみにしたことによってプレゼンターの思いが直接聞くことができ、その後、聴衆者とプレゼンターの交流ができた。

あしや市民活動センター登録団体交流会

- 1 日時：11/25(土)10:00-12:00 2 担当：二宮 3 参加者：23団体 28人
- 4 目的：あしや市民活動センター登録団体紹介冊子「コンパス」（令和5年度版）の配布及び交流会を開催し、登録団体間の交流の促進、連携等を促すことで市民活動のより一層の活性化を目指す。
- 5 内容：新規登録団体の活動紹介等のPR、グループ毎で協働・連携をテーマにした情報交換、団体から活動、イベント情報のPR
- 6 振返り：23団体 28人の参加があり、共通の活動分野がある団体を5グループに分

け、団体間の協働をテーマに情報交換をすることができた。交流時間が短く、グループの入替えをしなかったこともあり、もっと他の団体との交流を望むコメントが多くあったため、フリータイムを設けるなど全体枠を増やすことなどを検討。新規登録団体 16 団体のうち 12 団体の参加があった。新鮮味もありよかった。案内のメールに対する反応が少ないので、利用者に手渡すなど通知の手段を再考する必要がある。参加者人簿に記載漏れがあり、受付での対応やグループ分けに混乱が生じた。プログラムやPRタイムの持ち時間などの事前アナウンスが不足していた。



ソーシャルグッドな市民のつどい場報告書

- 1 日 時：12/24(日)10:00-16:00 2 担当：橋野 3 参加者：43 人（たかさん、ナミさん、市民参画・協働推進課、調理含む） 4 目的：対話の文化を広める。
- 5 内 容：テーマ別つどい場、みんなでつどい場、ブース体験、フリートーク
- 6 振返り：参加者が笑顔で帰られたというのが一番。想いを吐露できる場が一つでもあることだと再確認できた1日だった。参加者、ほぼ全員が帰りに一言書いてくださったが、後からのアンケートに答えていただいたのは半数以下であった。その場での共有が大切だと感じた。



つきいちよるごはん

- 1 日 時：4/21 6/16 8/18 10/20（金）12/16 2/17（土）
（全6回）18:00-20:00（土曜日は10:30-13:00）
- 2 担 当：株本 3 参加者：大人33人、子ども52人、



ゲスト7人

- 4 目的:親子で集いワークショップなどを通じて、日頃の子育てに関する悩みを共有できる交流の場をつくる。
- 5 内容:4/21 子育て診断 (ゲスト:八木さん)
6/16 自分でつくるばんごはん (ゲスト:スタジオパバローン)
8/18 宇宙望遠鏡で見た惑星のおはなし、プラバンづくり
(※佐藤くんは体調不良のため中止)
10/20 季節の養生とセルフケア (ゲスト:GROW ASHIYA)
12/16 クリスマスツリーの飾り作り (芦屋ママプレイス)
2/17 3B体操、星座の話、手作り工作 (ゲスト:佐藤さん親子)
- 6 振り返り:今年度は、参加していたママの中からゲストになり、得意分野で講師となったり料理をしたりと参加者主体のイベントになった。最後の2回を土曜日の昼間に開催してみた。参加者は金曜日の夜と全く違う方々となったことを踏まえると曜日、時間によって参加者のニーズが違っていたことがわかった。来年度は、こどもの居場所づくり活動をしている団体との協働で、多様な方々との活動につなげていく予定だ。

ストーリーマップセミナー報告

- 1 日時:4/9(日)10:00~16:30 2 担当:二宮 3 参加者:5人
- 4 講師:當間 克雄氏 (兵庫県立大学 社会科学研究所 経営専門職専攻 教授)
- 5 目的:個人・団体のプラン実現に向け、計画・目標と戦略の立て方を学ぶ。
- 6 内容:事前ワークとしてワークシート作成と当日の講義とワークシートの作成により、プラン実現に向けてのストーリーマップ (BSC) を作る。
- 7 振り返り:少人数ながらも起業意欲の高い人が参加し、最後まで集中した講座となり満足度は高かった。講座で作成する5つのシートの内の2つを事前ワークで作成するパートをリードあしやのスタッフが担うことになり、面談、オンライン、メール等でのやり取りでの負担が大きかった。



団体運営お助け1dayスクール報告

1 実施日：5/13(土)14:00-16:00 2 担当：株本

3 参加者：10人 4 講師：株本 就子

5 目的：団体運営の広報手段としてのチラシ作成をサポートし、活動支援を行う。



6 内容：無料テンプレート「Canva」を使ったデザイン講座

7 振返り：デザインソフト「Canva」は無料で使用できることもあり需要が多くなりつつあるツールであり、応募者多数のため抽選とした。起業を目指す女性の参加者が多く、すぐに使用していきたいとの意欲を感じた。

ソーシャルナイト～夜の社会貢献勉強会V o 1 . 1 5

1 日時：5/19、7/21、9/15、11/17、1/19、3/15（金）18：30-20：00

2 担当：二宮

3 参加者：129人（会場60人、オンライン61人、ゲストスピーカー8人）

4 ゲストスピーカー：

①岸田千佳さん（ウララ芦屋、一般社団法人千の愛 代表）

②熊懷 賀代さん、弓立 瑤子さん（NPO法人「絵本で子育て」センター）

③三宅真理子さん（こくさいひろば芦屋）

④楠本 あやさん（一般社団法人カワイク介護 代表理事）

⑤阪田 昌三さん（NPO法人キャンピズ ウィズ芦屋管理者）

⑥かずみ てつやさん、みゆきさん（Living with JOY）

5 目的：

①アロマハンドリラクセーションがもたらす社会的支援で、子育てに頑張る母親に対する心身のサポートをボランティアで取り組む活動を学ぶ。

②絵本講師養成講座を20年間続けてきた活動の紹介と子育てへの思いを通して、読み聞かせの可能性と伝える人を育てる大事さについて学ぶ。

③外国人と共に学び合い、共に創る「多文化共創のまちづくり」を学ぶ。

④「カワイイは介護を救う」を合言葉にした社会貢献事業について学ぶ。

⑤障がい者向けキャンプ事業を手掛けるキャンピズのスタイルを生かした就労継続支援B型作業所ウィズ芦屋の取り組みについて学ぶ。

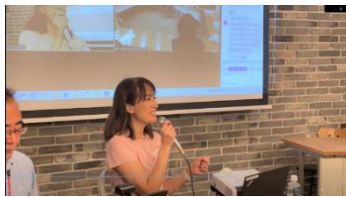
⑥アロマシェアリストとして取り組む社会貢献について学ぶ

7 振返り：

①岸田さんの活動やお話に多くの参加者が共感を受け満足度は高かった。母親支援

=子ども支援は様々なアプローチがあることを知った。

- ②アンケートの感想欄に長文で回答された方が何人かいたことから、内容への関心の高さを感じた。参加者には絵本の読み聞かせ活動、絵本の創作者がおり、意見交換の時間を設けるなどの時間配分に配慮が必要であった。
- ③地域に暮らす多文化の人々と共に学び合いの関係を持つ共創スタイルにより、外国人のアイデンティティが発揮されていることに参加者は共感し、満足度は高かったようだ。
- ④楠本さんの話が1時間に及び、情報交換、意見交換の時間配分が少なくなったものの、内容の濃い話を聴くことができ、満足度が高いものとなった。
- ⑤まだまだ障がい者への社会の理解や関わりが進んでいないといった意見がいくつか出たことに対して、野菜販売など施設と地域を繋ぐ小さなイベント開催が紹介された。参加者から次の開催についての問合せがあるなど反応が高かった。
- ⑥国内ではまだまだアロマセラピーはエステティックのイメージが圧倒的であるが、今回の話を聞いてそのイメージが変わり、本来のメディカルとしての活用が周知されていくことの必要性を感じた内容であった。



コミュニティ・ビジネスゼミナール

- 1 日 時 : 5/28、6/11(日)13:30-16:30
- 2 担 当 : 二宮 3 参加者 : 20 人
- 4 講 師 : 梅山晃佑 氏 (プロジェクトコンサルタント)
- 5 目 的 : 第1回「コミュニティ・ビジネスを実践者に学ぶ」
第2回「コミュニティビジネスプランのビジュアル化の仕方を学ぶ」



- 6 内 容：第1回「コミュニティ・ビジネスを理解し、イメージできる地域課題を、ワークシートを利用し、タイプ別のアプローチの仕方を学んだ。」
第2回「ビジュアル化を、わかる・相手を想像する・構造化する・伝え方を工夫するの4つの展開による講義の後、模擬プレゼン実施」
- 7 振返り：2回連続の参加者は3名だった。市民提案型事業補助の応募者の参加が4名あり、うち3名が模擬プレゼンを行った。参加者が模擬審査員となり、厳しい質問が上がり、良いシミュレーション体験ができた。



「芦屋発、君も今日から新聞記者」報告書

- 1 日 時：5/1、6/18、6/20、7/11、7/15、7/26、7/29、8/1、8/9、8/21、9/20、9/26
9/30、10/6、11/15
- 2 担 当：橋野 3 参加者：延べ95人（県立芦屋高等学校 クラーク記念国際高等学校 芦屋学園高校） 4 指 導：武藤邦生さん 柏木一也さん（神戸新聞社）
- 5 目 的：子どもの頃から市民活動に触れて、知って、理解を深める環境をつくること。世代を超えたふれあいと、次世代を担う人材育成、活動人口を増やすことを目的とする。
- 6 内 容：講座1回、編集会議3回、インタビュー15人 高校生記者の興味のある分野、人にインタビューをし、記事に仕上げ、冊子にし配布する。
- 7 振返り：記者活動をしたのは、県立芦屋高等学校ボランティア部7人。それぞれ興味のある分野、人を検索し、インタビューを行ったが、記者2年目の学生は、事前調査を入念に行い、話をよく聞き取る力がついてきているのが、よく分かった。神戸新聞社と学生との間をつなぎながら、良い関係性の中に、良い活動（記事）が生まれることを実感した1年であった。



「Instagram を使いこなそう」セミナー

- 1 日時：7/30(日)13：30-16：30 2 担当：二宮 3 参加者：21人
- 4 講師：梅山 晃佑さん（プロジェクトコンサルタント）
- 5 目的：広報ツールとして Instagram の活用方法を学ぶ。
- 6 内容：第1部「Instagram の特徴を理解し、具体的な活用方法を学ぶ。」
第2部「実際に操作してみる」
- 7 振返り：操作アシスタントとして高校生ボランティアが活躍したことが、良い相乗効果を生んだ。



ファシリテーション講座「合意形成が生まれる場」

- 1 日時：10/29(日)14：00-17：00 2 担当：橋野 3 参加者：15人
- 4 講師：梅田純平さん（NPO法人キャンピズ事務局長）
- 5 目的：会議を運用する為に優先順位を見極め合意形成へと導くノウハウを学ぶ。
- 6 内容：講義「ファシリテーションとは」ワークショップ「カチジュン」
- 7 振返り：全体的に初めての方とも共感しあえ、「合意形成が生まれる場」には良い結果をもたらすことが体感できたと、アンケート結果からも得られた。



第35回芦屋さくらまつり清掃ボランティア

- 1 日時：説明会 3/25(土)13:30-14:30 当日 4/2(日)8:30-20:30
振返り 4/9(日)10:00-12:00
- 2 会場：芦屋川東側道路、リードあしや
- 3 担当：橋野・金子
- 4 参加者：85人（説明会28人、当日40人、



振返り 17 人)

(当日内訳：芦屋大学ボランティア部 Aqua 1 1 人、AC30 期 5 人、青少年センター 2 人、精道中学校 CGJ 8 人、朝日ヶ丘町防災会 5 人、一般 9 人)

- 5 目的：学生中心の実行委員会を立ち上げ、ゴミのない心地よい祭り支援を行う。
- 6 内容：事前説明会、当日のゴミの回収、啓発活動、終了後の振り返り会を実施

灯籠まつり「灯籠でまちを彩る」

- 1 日時：1/8(月)10:00-20:00 2 担当：橋野 3 参加者：180 人
(実行委員会 6 人、左官 2 人、ボランティア 12 人、117KOBE 防災委員会 5 人、エイサー 6 人、神防社 2 人、映像 2 人、Jcom 3 人を含む)
- 4 目的：左官の技と、1.17 を忘れないという想いの継承
- 5 内容：防災、左官関連のワークショップと、灯籠の点灯
- 6 動画：https://studio.youtube.com/video/impViyfye_k/edit
- 7 振返り：2022 年度のあしや市民活動フェスタ、市民会議を経て、灯籠まつり企画をベースに中高生の実行委員会を 5 月に発足し、1 月の開催に至った。1.17 を経験していない学生が防災をテーマに、月 1、2 回の会議を持ち、多様な団体との交渉をしたり、プレゼンやラジオ告知に伺ったり、「楽しかった」と笑顔で話してくれたことが印象深い。当日、ボランティアに参加するだけでなく、みんなで考え、企画を積み上げていく過程で、成長を感じることができた。小さいところから参画する喜びを作り上げる仕組みが中間支援の使命のように感じた。



災害時対応セミナー

- 1 日時：9/16、23 日、30 日(土)10:00-12:00 2 担当：橋野・金子
- 3 参加者：41 人 4 講師：樋口貴洋氏 (神戸消防局消防局 東灘消防署)
藤井智生氏 (生活協同組合コープこうべ広報室) 津久井進氏 (兵庫県弁護士会弁護士)
- 5 目的：災害発生時から災害後の対応方法をカードゲームから備える術を考える。

6 内 容：すべてのセミナーにおいて、カードを使い、グループワークを行った。

9/16 (土) 災害協力シミュレーションゲームダイレクトロード (神戸消防局提供)

ダイレクトロードとは、各自が持つ情報を共有して統合し、全体像を把握していくカードゲーム型の防災訓練教材だ。海辺の町の設定で、地震直後から津波がくる想定疑似体験をした。無料で使える教材である。



9/23 (土・祝) 得する防災～災害食は日常食～

被災時に健康的に過ごすための食を学びながら、普段常備している食材から調理し、食するまでを体験。ポリ袋調理で、栄養バランスも考えご飯を炊き、鯖缶でカレーを作った。カードを使い、栄養素を学んだ。



9/30 (土) 被災者生活再建カード～被災者支援制度を知ろう～ (長野海弁護士提供)

防災基本計画の話から、災害後から自立・再建までのマネジメントの事例、被災者生活再建カードを使って支援制度の内容や、制度がどの場合に使えるのかを疑似体験をした。



7 振り返り：疑似体験の中で、コミュニケーションの大切さを再確認できたと感じた。

グループワークをへて、伝える事、聞く事の重要性、近隣との連携等の必要性を認識できたようだ。普段からの情報力がいろいろな事を左右することを実感した。現場での優先順位や情報の有無で状況も変わるとアンケートから読み取れ、地域での学ぶ場が必要だと感じた。時期が防災やイベントのシーズンだったために広報が難しかった。来年度は、次期や広報場所など再検討する。

CYCLE COMPOST

1 日 時：会議 11/30(木) 1/22(月) 講座 2/2(金) 3/15(金) 2 担当：橋野・出口

3 参加者：40人 (会議 10人 講座 30人)

4 目的：3Rと脱炭素社会への仕組みにも貢献を目指す。

5 内容：NPO、障がい者施設、企業、行政と協働し、市民に対しコンポストワークショップから環境の学びを提供する。

- 6 講師：木下ゆかこ（ひと・杜・暮らし あまがえる）
- 7 協働：ヤドリギ商店 社会福祉法人メンタルサポートセンター ライラック
一般社団法人モノコミュ研究所 芦屋市環境施設課
- 8 動画：<https://youtu.be/Pp1bbcR1RGE>
- 9 振り返り：参加者の共感度は高く、質問も多かった。継続するのが難しい活動ではあるが参加者からは、「これなら継続できるかも」と前向きな意見があり、振り返り会が楽しみになった。今後の課題として、次のことがあがった。お持ち帰りいただく竹パウダーが 5kg と少々かさ張るものであるため、この量を考える必要性があること、テーブルの位置を変えることで広く使えるようにすること。



Just! do it 「花と緑があふれる街 Ashiya プロジェクト」

- 1 日時：5/27 7/22(土)13:00-17:00
- 2 会場：リードあしや 3 担当：二宮
- 4 参加者：43人
- 5 運営：中村 真也さん（プロジェクト呼びかけ発起人）
- 6 目的：活動を考えてはいるがどこから、何からしたら



いいのか迷っている人を対象に団体の会場提供、助言などの支援により活動を活性化させる。

- 7 内容：市民参加型の活動の広がりをつくるために、オープンな報告会として芦屋オープンガーデンへの参加体験、英国フラワーショーに参加した若手ガーデナーの大会体験を伝える場を設けた。報告会開催の会場、チラシ作成、人刺作成支援をおこなうなどのバックアップをした。
- 8 振り返り：英国フラワーショーに日本の著名なガーデナーのアシスタントとして帯同した若者からの現地の体験談はガーデニングへの興味が高まる有意義な内容だった。

Just! do it 「コミュニティほけん室」報告

- 1 日 時 : 9/29(土)11:00-15:00 2 担当 : 橋野 3 参加者 : 17 人
- 4 運営 : 定藤登紀子さんおしゃべりカフェにつち
- 5 目 的 : 活動を考へてはいるがどこから、何からしたらいいのか迷っている人・団体の会場提供、助言などの支援により活動を活性化させる。
- 6 内 容 : 学校に保健室があるように街にも保健室があればという思いから、ランチを楽しみながら、保野帆海さん(愛しや 管理栄養士)の話を聴き、聴いてもらう場を設けた。
- 7 振返り : 専門家の話と見た目も食べてもおいしいランチで参加者の満足度がよくわかり、心と体を元氣する元であると実感された。運営者の高齢化と多忙さを解消する方法を模索中であるため、まずは、チラシの作成と広報方法(ためまっぴる屋)のレクチャーを支援することとなった。



以上

リードあしや de ギャラリーマルシェ

- 1 日 時 : 11/18(土)10:00~16:00 2 担 当 : 出口
- 3 参加団体 : 11 団体 (ミユキデリカ、minon、日本スリランカ友の会関西、Chie&Yoshi、リレー・フォー・ライフ芦屋実行委員会、芦屋翠ホーム、花咲く書道・花書サークル、工藤成子さん、就労継続支援 B 型ライラック、遊遊 リードあしや)
- 4 参加者数 : 約 60 人
- 5 内 容 : ギャラリースペース利用者や市民活動団体が自団体の活動内容や P R を目的に展示販売し、活動にちなんだワークショップを行う。
- 6 参加者からの振り返り
 - ・ 来場者は少なかったが、ゆったり流れる時間の中、来場者との交流ができた
 - ・ 出展団体同士での交流ができた。
 - ・ 初めてのイベントだったので、どのようになるのか不安だった。参加者が興味をもって質問してくれたので、商品購入だけではなく活動内容にも興味を持ってもらうことができうれしかった。

- ・ギャラリーマルシェを今後も実施してほしい。

7 全体の振り返り

- ・とても寒い日であったり、小学校の音楽会があったりと来館者が少ないと予想していたが、出展者が個々に広報していたため、約60人の来館者があった。
- ・出展者を募集した時点で、出展をなかなか決めることができず、直前に決定する団体が数件あった。チラシの作成に時間がかかり、広報が少し遅れることになった。



minon



MIYUKI DELICA



日本スリランカ友の会関西



花咲く書道・花書サークル



工藤 成子さん



就労継続支援 B型 ライラック



Chie & Yoshi



(社福) 三田谷治療教育院
芦屋翠ホーム



リレー・フォー・ライフ芦屋
実行委員会

ためまっぷ芦屋 ミニホームページ使い方説明会

- 1 実施日：5/27(土)10:00-12:00 2 担当：株本 3 参加者：11人

- 4 講師：和田菜水子さん(ためま株式会社)

- 5 目的：システム開発を進めているミニホームページの説明と今後の利用促進をはかる



- 6 内容：ログインからミニホームページの作成方法までを説明し、実際にどのような使い方があるかレクチャーする。

- 7 振り返り：普段からためまっぷ芦屋を利用している方でホームページを持つほどの財源や人材がよくな小さな団体に、さらに活動のPRができるページ作りをして欲しいという目的で作られたミニホームページである。操作方法が少し複雑な印象で実際にスムーズに利用できるようになるには個別のレクチャーが必要であると感じた。
- 今後、より使いやすいページとするためには開発チームとの連携を行う必要がある。

ためまっぷ芦屋 説明会

- 1 実施日：8/27(日)14:00-16:00 2 担当：株本 3 参加者：21人
- 4 講師：和田菜水子さん（ためま株式会社）
- 5 目的：無料テンプレート「Canva」を使ったデザイン講座とためまっぷ芦屋の投稿体験、事例紹介、利用団体の交流を促進する。
- 6 内容：Canvaを使用してチラシの作成を行い、できたものを実際にためまっぷ芦屋に投稿する体験とためまっぷ芦屋の事例紹介、交流会を行う。
- 7 振り返り：前回の Canva 使い方講座に参加できなかった方が多く参加された。理解度に差があるため個別対応に時間がかかってしまった。事前に登録やアカウント設定をするなど簡単な講習をするか、レベル分けする必要があった。
- ためまっぷ芦屋に投稿したときにどう表示されるかなど基本的な内容ではあったが、その後実際に投稿へと繋がった団体もあった。
- ミニホームページの利用についてのレクチャーは工夫が必要である。



第17期（令和5年度）活動計算

（特活）あしやNPOセンター 令和5年4月1日～令和6年3月31日

（単位：円）

科 目	金 額		
I 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	110,000		
賛助会員受取会費	45,000	155,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金		586,000	
3. 受取助成金・協賛金			
日本CO・CP共済地域ささえあい助成 （ためまっぶ苜屋）	540,000		
ひょうご安全の日推進事業助成 （災害時対応セミナー）	47,000		
JFEエンジニアリング （CYCLE COMPOST）	100,000		
ひょうごボランティアプラザ中間支援活動助成 （Just! do it）	500,000		
ひょうごボランティアプラザ地域づくり活動 NPO事業助成 （灯籠まつり）	500,000		
苜屋東ライオンズクラブ協賛金 （灯籠まつり）	30,000	1,717,000	
4. 事業収益			
あしや市民活動センター指定管理料	30,500,000		
会議室利用料	1,887,400		
印刷機等利用料	2,700,290		
講師派遣	93,500		
事業収益	1,376,179	36,557,369	
5. その他収益			
受取利息	83		
その他収入	47,386	47,469	
経常収益計			39,062,838
II 経常費用			
1. 事業費			
(1) 人件費			
給料手当	20,101,323		
法定福利費	2,961,568		
福利厚生費	65,291		
ボランティア謝金	3,000		
通勤交通費	621,048		
人件費計	23,752,230		
(2) その他経費			
業務委託費	970,475		
諸謝金	842,000		
支払助成・寄付金	30,000		
広告宣伝費	300,000		
通信運搬費	506,286		
活動交通費	22,610		
相談員謝金	30,000		
消耗品費	1,823,945		

修繕費	177,513		
水道光熱費	2,074,072		
新聞図書費	21,574		
支払手数料	22,110		
印刷製本費	736,780		
会場費	7,260		
リース料	1,806,237		
保険料	92,310		
租税公課	1,676,566		
支払報酬費	20,000		
研修費	31,220		
会館管理費	2,023,890		
会館修繕費	908,160		
事務局費	362,925		
その他経費計	14,485,933		
事業費計		38,238,163	
2. 管理費			
(1) 人件費			
給料手当	343,743		
法定福利費	3,240		
福利厚生費	43,412		
通勤交通費	6,272		
人件費計	396,667		
(2) その他経費			
支払助成・寄付金	47,662		
会議費	120,000		
渉外費	13,000		
通信運搬費	95,894		
消耗品費	23,548		
修繕費	1,192		
水道光熱費	20,950		
印刷製本費	29,970		
会場費	8,440		
租税公課	8,946		
諸会費	3,000		
支払手数料	362		
その他経費計	372,964		
管理費計		769,631	
経常費用計			39,007,794
当期正味財産増減額			55,044
前期繰越正味財産額			6,695,535
次期繰越正味財産額			6,750,579

財産目録

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額	金 額	金 額
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
現金	現金手許有高	858,981	
預金	三井住友銀行芦屋支店	4,578,942	
前払費用	消費税及び地方消費税 (中間申告)	831,000	
前払金	什器備品・修繕	328,350	
立替金	スキップ・マーティンチャリティーイベント	136,764	
未収入金	業務委託作業費	124,040	
	寄付金	564,000	
流動資産合計			7,422,077
2. 固定資産			
器具備品	輪転印刷機	1	
固定資産合計			1
資産合計			7,422,078
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	諸謝金(あしや子ども笑顔ネット)	15,000	
未払費用	セコム(AED)・通信費	14,359	
預り金	源泉所得税・社会保険料	642,140	
流動負債合計			671,499
負債合計			671,499
正味財産合計			6,750,579

貸借対照表

令和6年3月31日現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	858,981		
預金	4,578,942		
前払金	328,350		
前払費用	831,000		
未収入金	688,040		
立替金	136,764		
流動資産合計		7,422,077	
2. 固定資産			
器具備品	1		
固定資産合計		1	
資産合計			7,422,078
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15,000		
未払費用	14,359		
預り金	642,140		
流動負債合計		671,499	
負債合計			671,499
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,695,535	
当期正味財産増減額		55,044	
正味財産合計			6,750,579
負債及び正味財産合計			7,422,078

財務諸表の注記

集計期間: 令和5年4月1日～令和6年3月31日						
勘定科目	年間予算	指定管理	指定・自主	独自・自主	共通	合計
正会員受取会費	150,000	0	0	0	110,000	110,000
賛助会員受取会費	60,000	0	0	0	45,000	45,000
受取寄付金	160,000	0	0	243,004	342,996	586,000
会費・寄付金計	370,000	0	0	243,004	497,996	741,000
指定管理料	30,500,000	30,500,000	0	0	0	30,500,000
会議室利用料	1,900,000	1,887,400	0	0	0	1,887,400
指定管理計	32,400,000	32,387,400	0	0	0	32,387,400
印刷機等利用料	3,520,000	2,150,891	439,521	0	109,878	2,700,290
講師派遣	0	0	0	93,500	0	93,500
事業収益	680,000	58,120	652,061	525,324	140,674	1,376,179
受取助成金・協賛金	2,138,000	0	1,177,000	540,000	0	1,717,000
自主事業計	6,338,000	2,209,011	2,268,582	1,158,824	250,552	5,886,969
受取利息	1,000	0	0	0	83	83
2021年度繰越金	440,000	0	0	0	0	0
その他収入	0	1,919	0	24,467	21,000	47,386
その他計	441,000	1,919	0	24,467	21,083	47,469
売上高合計	39,549,000	34,598,330	2,268,582	1,426,295	769,631	39,062,838
給料手当	21,653,000	18,721,433	966,168	413,722	343,743	20,445,066
法定福利費	2,640,000	2,948,608	9,720	3,240	3,240	2,964,808
福利厚生費	250,000	65,291	0	0	43,412	108,703
通勤交通費	857,000	577,136	31,366	12,546	6,272	627,320
人件費計	25,400,000	22,312,468	1,007,254	429,508	396,667	24,145,897
業務委託費	1,123,000	249,700	60,775	660,000	0	970,475
諸謝金(講師・委員)	820,000	457,000	235,000	150,000	0	842,000
支払い助成金	0	0	0	30,000	0	30,000
支払い寄付金	0	0	0	0	47,662	47,662
ボランティア謝金	20,000	3,000	0	0	0	3,000
渉外費	5,000	0	0	0	13,000	13,000
広告宣伝費	300,000	300,000	0	0	0	300,000
会議費	90,000	0	0	0	120,000	120,000
通信運搬費	390,000	458,358	41,955	5,973	95,894	602,180
活動交通費	12,000	2,960	17,990	1,660	0	22,610
相談員謝金	50,000	30,000	0	0	0	30,000
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0
消耗品費	1,347,000	1,156,285	624,536	43,124	23,548	1,847,493
修繕費	130,000	172,745	3,576	1,192	1,192	178,705
水道光熱費	2,050,000	1,990,272	62,850	20,950	20,950	2,095,022
新聞図書費	20,000	21,574	0	0	0	21,574
印刷製本費	1,020,000	650,250	73,130	13,400	29,970	766,750
会場費	13,000	0	680	6,580	8,440	15,700
リース料	1,670,000	1,703,933	102,304	0	0	1,806,237
保険料	90,000	82,310	10,000	0	0	92,310
租税公課	1,600,000	1,640,930	27,102	8,534	8,946	1,685,512
支払報酬料	10,000	20,000	0	0	0	20,000
研修費	23,000	31,220	0	0	0	31,220
諸会費	3,000	0	0	0	3,000	3,000
会館修繕費	840,000	908,160	0	0	0	908,160
会館維持管理費	2,222,000	2,023,890	0	0	0	2,023,890
事務局費	280,000	362,925	0	0	0	362,925
支払手数料	21,000	20,350	1,430	330	362	22,472
事業費計	14,149,000	12,285,862	1,261,328	941,743	372,964	14,861,897
支出計	39,549,000	34,598,330	2,268,582	1,371,251	769,631	39,007,794
収支計		0	0	55,044	0	55,044

計算書類の注記

1.重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日 2017年12月12日一部改正によるNPO法人会計基準協議会)によります。
また、消費税等の会計処理は、税込経理方式によります。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて定率法で償却しています。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込経理方式によっています。

2.事業費の内訳

事業別収益の状況は別紙(「財務諸表の構成要素注記」)の通りです。

3.使途等が規約された受取助成金等の内訳

使途等が規約された受取助成金等の内訳は以下の通りです。

(単位:円)

助成金名称(事業名)	助成金額
日本CO・CP共済地域ささえあい助成(ためまっぷ芦屋)	540,000
ひょうご安全の日推進事業助成(災害時対応セミナー)	47,000
JFEエンジニアリング(CYCLE COMPOST)	100,000
ひょうごボラタリープラザ中間支援活動助成(Just! do it)	500,000
ひょうごボラタリープラザ地域づくり活動NPO事業助成(灯籠まつり)	500,000
芦屋東ライオンズクラブ協賛金(灯籠まつり)	30,000
合計	1,717,000

4.固定資産の増減内訳

固定資産の増減内訳は以下の通りです。

(単位:円)

科目	期首帳簿価格	取得	減少	期末帳簿価格	償却累計額
固定資産					
什器備品(輪転機)	0	0	0	1	248,399
合計	0	0	0	1	248,399

監査報告書

令和6年4月22日

特定非営利活動法人 あしやNPOセンター
理事長 石本 章 宏 殿

監査報告書

私ども兩名は特定非営利活動促進法第18条の規定に基づいて、去る令和6年4月22日14時から15時まで約1時間、あしや市民活動センター会議室Cにおいて、当法人（特定非営利活動法人あしやNPOセンター）の令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の活動報告書及び計算書類（事業別会計及び収支計算書）について監査を行いました。

監査の結果、法人の業務は、法令及び定款そして活動計画にもとづき適正に執行され、会計処理は、一般に公正妥当と認められる会計原則に則って、適正に処理されているものと認められました。

依って私たちは、活動報告及び収支計算書が事業年度の終了時点（令和6年3月31日現在）における当法人の経営（業務執行及び財務）状況を適正に表示していることを認めます。

監事

長城 紀道



監事

朝倉 巳作

